

日台観光サミット 桃園宣言

日台観光推進協議会は 2022 年 9 月 2 日、台湾・桃園市において「2022 日台観光サミット in 桃園」を開催し、ポストコロナ時代における日台観光産業復興に向けたリカバリーについて議論を行った。

その結果、日台双方は早期に本格的な観光交流の再開を促し、より緊密な連携・協力を図り、SDGs を意識した持続可能かつ低炭素観光のトレンドを実践することで、コロナ禍以前の延べ 700 万人を突破して、早期の 750 万人達成を目標とすることで一致した。

交通輸送の具体的なリカバリー施策として、日台双方の運航路線の再開をスピーディーに進め、就航地点をコロナ前の規模まで回復する事に注力すると同時に、鉄道と輸送分野においても最先端のテクノロジー・ツールを用い、かつより行き届いた細かな気配りとサービスで、快適な旅行環境を構築していく事とする。旅行会社に関しては、双方の政府にリアルタイムな感染状況に応じて調整するよう働きかけ、煩雑な手続きの簡素化を推進し、継続的に修学旅行を推進する。また、世界の観光の趨勢に応じ、地域の観光の振興を深めることで、質の高い旅行商品を提供し、日台双方による安心・安全な観光環境を整備していくものとする。

次回の「日台観光サミット」は、日本・愛知県にて開催することに合意し、日台双方の観光業界の絆を更に強固とし、観光交流の更なる活性化に取り組み、相互の観光産業の繁栄を共同で育んでいくものとする。

2022 年 9 月 2 日

日台観光推進協議会
公益社団法人日本観光振興協会
会長 山西 健一郎

台日観光推進協議会
財団法人台湾観光協会
会長 葉 菊蘭